

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

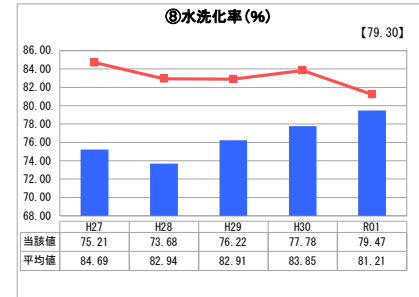
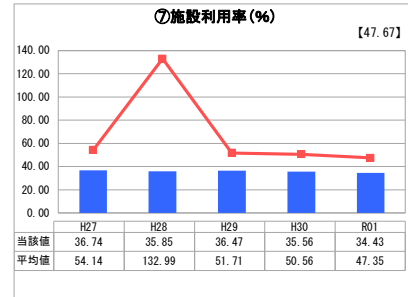
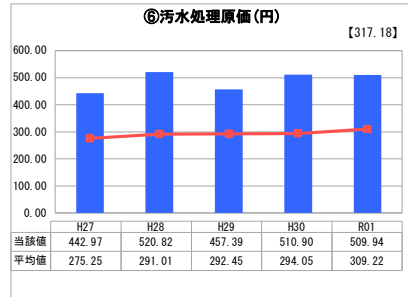
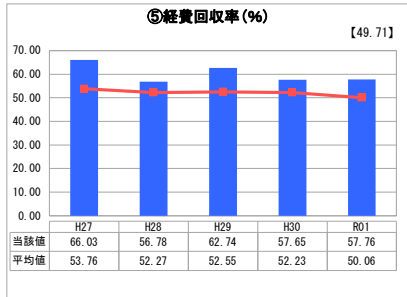
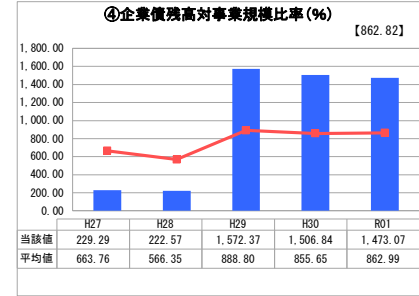
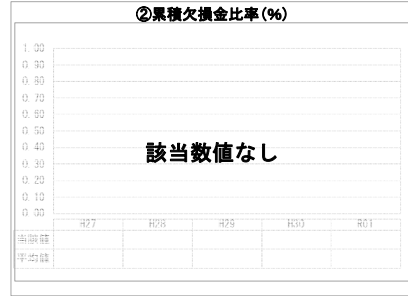
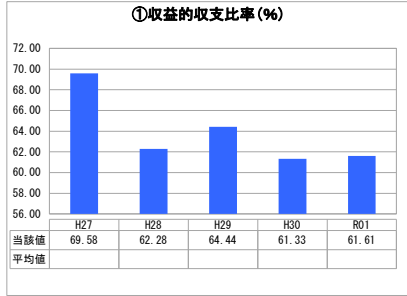
北海道 幌加内町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	37.30	100.00	3,900

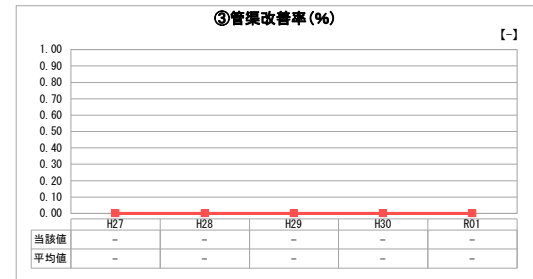
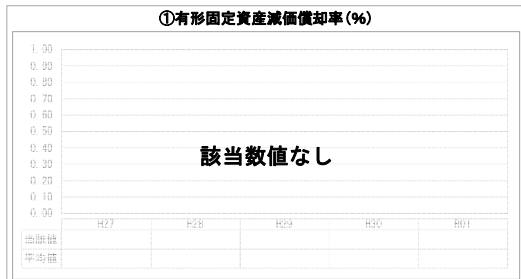
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,447	767.04	1.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
526	0.05	10,520.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○汚水処理原価が高い原因としては、農集とは違い個別に設置する浄化槽は維持管理等の費用も個別にかかってくる為、効率化は中々難しい状況となっている。

○水洗化率は、上昇傾向にあるが依然として類似団体平均値よりも低い状況が続いている。

### 2. 老朽化の状況について

○平成7年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理を実施し長寿命化を図っていく。

## 全体総括

○過去に料金改定を行い総収益の増収を図ってきたが、依然として一般会計からの繰入により運営している状況である。これからは汚水処理原価をどう低くしていくのか少しでも効率化を図り、経営を行っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。